

企業会計 (決算書が適正とは) 4 回目

オムロンエクスパートリンク
圓井

2020 - 10 - 28

前回の復習

1. 株式の収益

- 1) 株価は、需要と供給で決まる
- 2) 株価を買うか、売るかの判断軸が必要
- 3) 株式投資の収益は、配当と株価の値上がり ⇒ 継続的な利益の増大

2. 金銭の時間的価値の理解

- 1) 今日の100円と将来の100円は、価値が違う。
違う理由は ①世の中の金利水準
②将来得られる収益の不確実性
- 2) 現在価値 = 将来収益の総和

3. ファンダメンタル（収益性、成長性、財務体質）の数値が重要

- ①収益性：利益率
- ②成長性：売上成長率
- ③財務体質：企業の財務的安全性
(借入がない、株主資本が多いなど)

前回の質問等

Q1 「タコ足配当」は利益以上に配当をすることでしょうか。どういうときにそのような配当をするのでしょうか。

Q2 現在価値の割引率は金利と同じ（もし、世の中全体の金利が高いとすると現在価値を引き下げること）と考えてもよいのでしょうか。また、債権購入時、債権の現在価値もしくは割引率は表示されているのでしょうか？

Q3 P 10の10年後の価値を割戻す場合 $PV = 150(1 + 0.03)^{-10}$ で正しいですか？13.43916まではでてくるのですが、答えの117.1の数字がどうしても111.61…になってしまいます。数字を聞き間違っていますか？数学が本当に苦手ですみませんがもう一度教えてください。

Q4 自分の定期預金の現在価値の計算をする際の割引率は、どこを見たら記載されているのでしょうか？

Q5 株式の価値の基準の中にマイナス要素（災害・訴訟）がありますが、マイナス要素は何の参考になるのでしょうか？イメージがつかいませんでした。

前回の質問等

- C1 今日の授業の中で、電子マネーを使用されている方法がわかり、とても勉強になりました。株式の現在価値を求める方法は、今まで知らなかったのも、とても興味深かったです。また、企業の健全性を損益計算書や貸借対照表から、見る方法を教えていただき、株価の見方も変わりました。
- できることなら、対象となる企業が健全なのか否かが、もう少し自分の目だけでも、わかるようになりたいと思いますので、機会がありましたら、是非、教えていただきたいです。よろしくお願いいたします。
- C2 先生のお話を通して、株について理解することができました。やはり預金するだけでは駄目ですね。割り戻し率は難しいですが、理解出来たら投資にチャレンジしてみたいです。
- C3 「割引率」次第でどうにでも価格操作ができと思った。売買勧誘目的で現在価値を提示されても判断材料としては危険。割高感にも割安感にも、意図的に持っていくことが出来てしまう。素人には判別が難しい。
- C4 株を買う時は一株あたりの純資産（解散価値）を見るということ、実際の株価は本来まったく関係ない理由で上がったりする（思惑買い）こと、その企業の財務体質を見極めることが重要だと知りました。しかしそれらを踏まえた上で、やはり自分に投資は難しいなと改めて思いました。保守的な考え方でしょうか…
- C5 株式投資未経験ですが、応援したい企業を見つけたら、ぜひ買ってみたいと思います。そのために、まずB/S、P/Lを読めるようになりたいです。
- C6 今回もほぼ初めて聞く内容が多かったのですが、特に金銭の時間的価値のところは、とても丁寧にご説明いただき、理解することができました。

割引率 = 3%とします。

	投資		リターン			
	購入額		利息	満期額	合計	割引率 現在価値
現在	100					
1年後			5		5	1.03 4.854
2年後			5		5	1.06 4.713
3年後			5		5	1.09 4.576
4年後			5		5	1.13 4.442
5年後			5		5	1.16 4.313
6年後			5		5	1.19 4.187
7年後			5		5	1.23 4.065
8年後			5		5	1.27 3.947
9年後			5		5	1.3 3.832
10年後			5	100	105	1.34 78.13
合計	100	50	100	150		117.1

現在の株価
 今後の配当金
 売却時の株価

想定配当金と売却時の想定株価を
 割り戻した総和と現在の株価を比較

決算書を適正に作成するための「きまり」について学びます。

そのために

- 1. なぜ適正な決算書であることが重要なのか？**
- 2. 「適正な」とは、どういうことか？**
- 3. どのようなきまりがあるのか？**

適正な決算の重要性

企業会計の目的

	対外	対内
報告対象	社外 株主、投資家、銀行、取引先	社内 経営者、事業部長、部門長
報告目的	企業の経営成績を他社と比較可能な形で伝える	経営管理単位で業績管理や事業の意思決定に資する情報提供
報告内容	社外ルールに基づく適正な決算数値(B/S、P/L、C/F)	社内ルールに基づく経営実態を表す数値
タイミング	四半期	毎月+随時

ステークホルダーの
意思決定に利用

もし、いい加減な情報だと．．．

できない。

できない。

ができない。

決算書を適正に作成するための「きまり」があります。

会社法第431条において「**株式会社の会計は、一般に公正妥当と認められる企業会計の慣行に従うもの**」と定められている。
一般に公正妥当と認められる企業会計の慣行の一つが
企業会計原則。

この他に

財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（内閣府令）

US GAAP（米国会計基準）

（US Generally Accepted Accounting Principles）

IFRS（国際財務報告基準）

（International Financial Reporting Standards）

現金主義と発生主義

現金主義： 現金の動きに合わせて記帳する

発生主義： 事象の発生に合わせて記帳する

材料仕入 ⇒ 生産 ⇒ 製品販売

使用するもの

小麦粉
チーズ

オーブン

前提条件

会社名 リカレントベイカリー
会社設立 令和元年 5月1日
5月1日にオーブンを300万円で購入
5月以降営業を続けている。

今月の活動

1. 前月末チーズの在庫(前月末 300g 100g当たり500円)
2. 小麦粉10Kgを5,000円で購入
3. チーズパンを50個生産し、40個(120円/1個)を現金で販売

現金主義：現金の動きに合わせて記録する

小麦粉 10 Kgを5,000円で現金で仕入する。

チーズパン1個 120円を40個、現金で販売する。

**支出
収入**

お金は、いくら増えましたか？

利益は、いくらですか？

何かおかしい？

チーズパン 50個をつくるために使ったものは？

小麦粉 6,000 g（今月購入は10 Kg（5,000円））

チーズの塊 200 g（前月末在庫300g（1,500円））

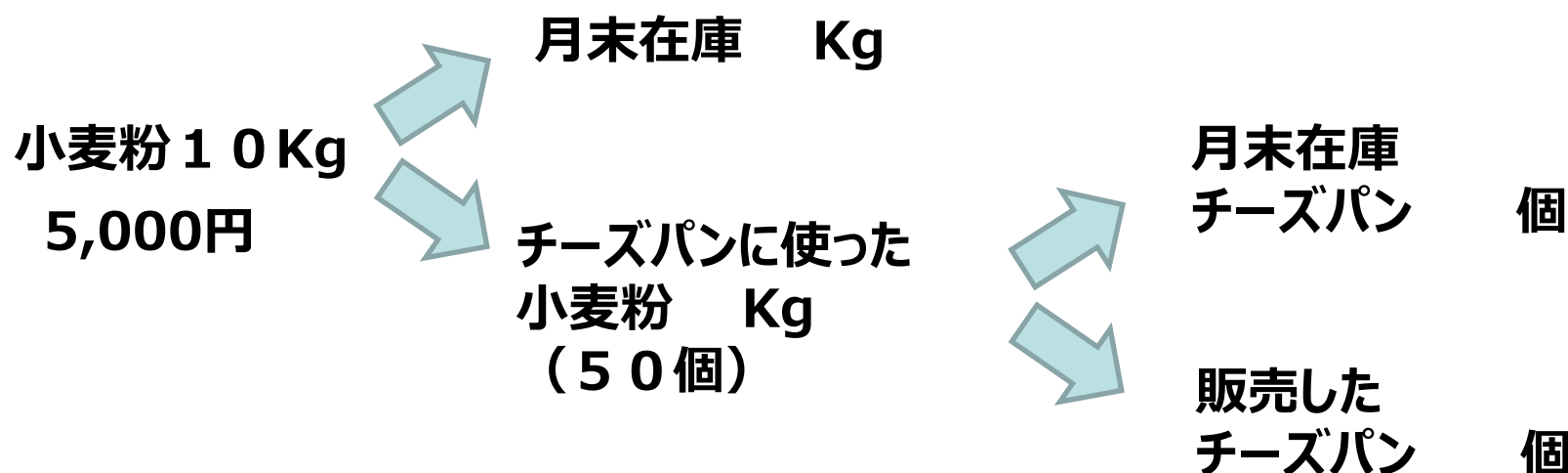
オーブン（開業時 3百万円で購入）

おかしい点

使った小麦粉はいくら

- ◆ 小麦 10 Kgを5,000円で購入
- ◆ チーズパン 50 個生産するのに使った小麦粉は 6 Kg
- ◆ 販売したチーズパンは 40 個

発生した事象に合わせて記録する。



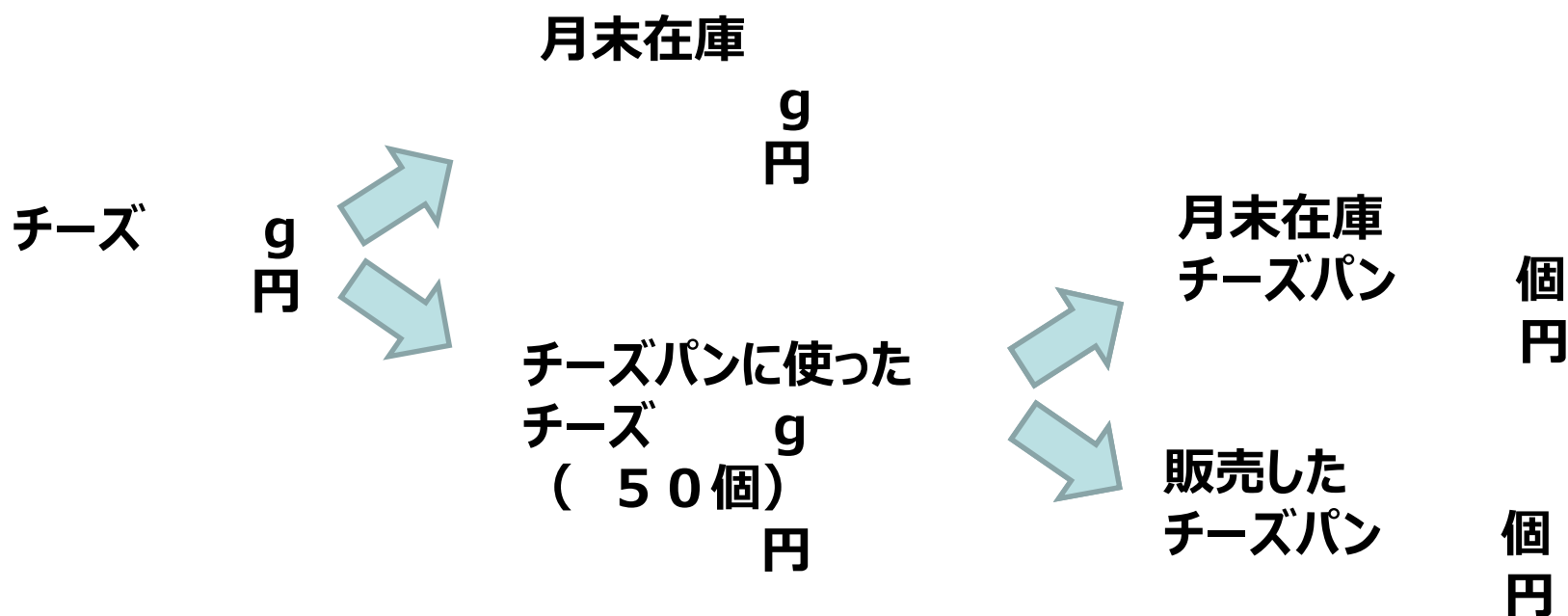
企業会計の究極の目的は

「損益計算の適正化」（正しい利益を計算すること）

使ったチーズはいくら

チーズ 300g (1,500円) 前月末在庫

チーズパン 50個生産するのに使ったチーズは200g



減価償却費(1)

パンのオーブン購入

Q1:パンのオーブンの役割は、何ですか？

A1:

Q2:オーブンの購入代金は、どうすればいいですか？

Q3:オーブンの価値は、1年後も300万円ですか？

A2、3: する＝オーブンの価値を げる。

Q4:どうやって費用とする金額を計算するのが合理的ですか？

A4:オーブンで焼けるパンの で計算？

①いくつ焼けるかわからない。②パンの種類や、焼く個数も変わる。

一般的に を基準に考える。

通常、税法で決められている

食料品製造業用

年以上使うものは、 と呼ばれ の対象となる。



耐用年数表

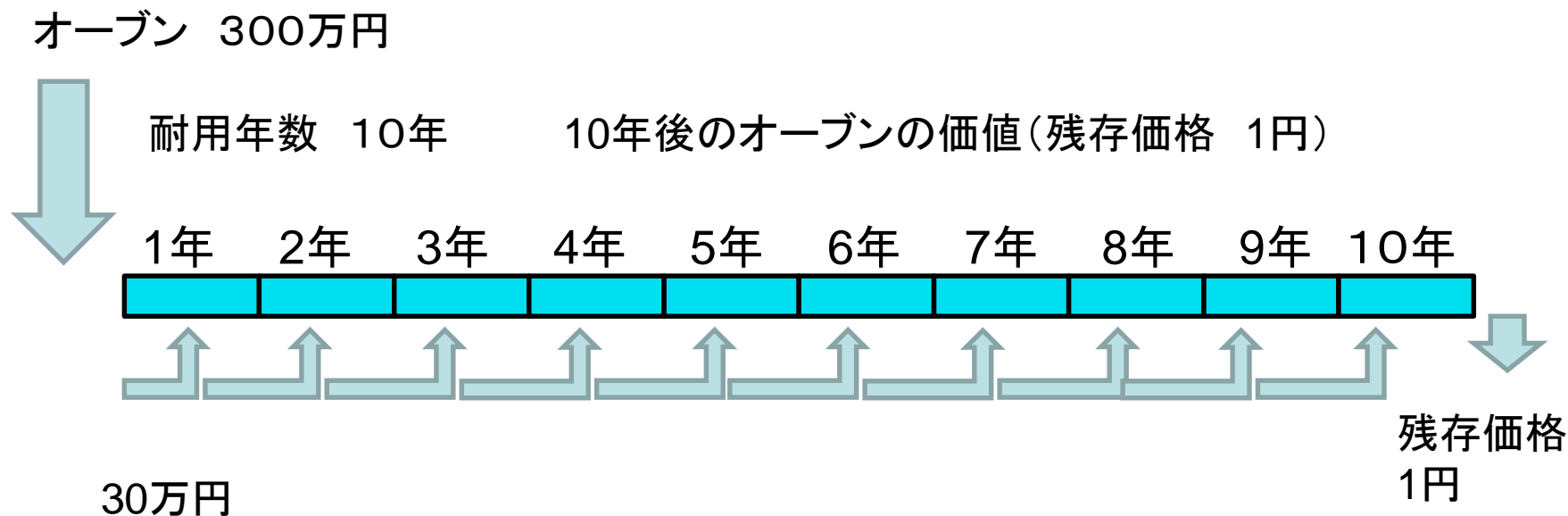
耐用年数(機械及び装置)

※ 平成20年度の改正で法定耐用年数の見直し等が行われ、平成21年分以後の所得税から適用されます。
入力の前に耐用年数をご確認ください。

〈機械・装置〉

設備の種類	細 目	耐用年数
農業用設備		7
林業用設備		5
食料品製造業用		10
飲料、たばこ又は飼料製造業用設備		10
繊維工業用設備	炭素繊維製造設備	
	黒鉛化炉	3
	その他の設備	7
木材又は木製品(家具を除く。)製造業用設備	その他の設備	7
家具又は装備品製造業用設備		8
		11

減価償却費(2)



減価償却費計算式(定額法)

$$30万円 = (300万円(購入価格) - 1円(残存価格)) \div 10年$$

他の計算方法の代表例は、定率法。

1. 真実性の原則

「企業会計は、企業の財政状態及び経営成績に関して、真実な報告を提供するものでなければならない。」

2. 正規の簿記の原則

「企業会計は、すべての取引につき、正規の簿記の原則に従って、正確な会計帳簿を作成しなければならない。」

正規の簿記とは、通常、複式簿記を指します。複式簿記の仕組みに従って、正確に仕訳を記帳し、総勘定元帳その他の会計帳簿を作成しなければなりません。

3. 資本取引・損益取引区別の原則

「資本取引と損益取引とを明瞭に区別し、特に資本剰余金と利益剰余金とを混同してはならない。」

というのが資本取引・損益取引区別の原則です。

例えば、ある入金があったときに、これが資本取引として入金されたのか、それとも損益取引(売上代金など)として入金されたのかでは、大きな違いがあります。そのため、資本取引か損益取引かということを区別しなければならない、というのがまず挙げられています。また、利益剰余金は株主に対する配当原資となりますが、資本剰余金を配当原資とすることはできません。このように剰余金についても性質が異なるものは区別しておかなければなりません。

4. 明瞭性の原則

「企業会計は、財務諸表によって、利害関係者に対し必要な会計事実を明瞭に表示し、企業の状況に関する判断を誤らせないようにしなければならない。」

判断を誤らないように明瞭に表示。

独自の勘定科目を使って貸借対照表や損益計算書を作ると、利害関係者がりかいてできない。

5. 継続性の原則

「企業会計は、その処理の原則及び手続を每期継続して適用し、みだりにこれを変更してはならない。」

期間比較ができるように、一度採用した会計方針は、変更するための合理的な理由がない限り、変更することは認められません。合理的な理由というのは、会計処理の前提となるような事実に変更があった場合や変更した方がより正しく会社の財政状態・経営成績を表示することになるような場合などが挙げられます。

6. 保守主義の原則

「企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に健全な会計処理をしなければならない。」

投資家保護、債権者保護の観点から、将来の損失が見込まれる場合は、実際に確定するのを待たず速やかに損失処理して、健全な財政状態を保つ。

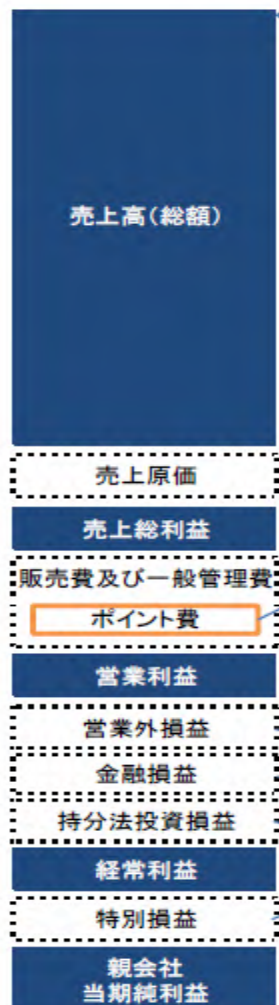
7. 単一性の原則

「株主総会提出のため、信用目的のため、租税目的のため等種々の目的のために異なる形式の財務諸表を作成する必要がある場合、それらの内容は、信頼しうる会計記録に基づいて作成されたものであって、政策の考慮のために事実の真実な表示をゆがめてはならない。」

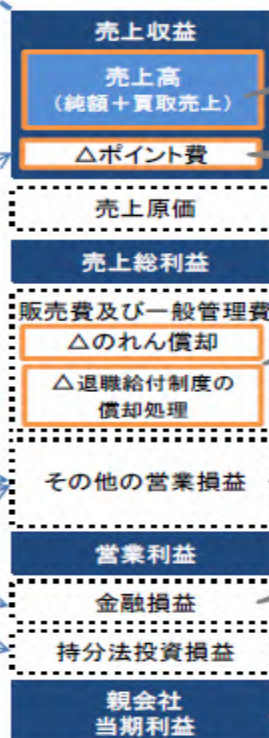
銀行や株主提出用の決算書は利益を大きく見せて、税務申告用の決算書は税金を減らすため利益を少なくする、など複数の帳簿を作成することを禁止しています。当たり前ですが、いわゆる裏帳簿というものは作ってはいけません。

日本基準とIFRSの違い (例示) **OMRON** オムロンエクスパートリンク株式会社

【日本基準(連結)】



【IFRS(連結)】



百貨店売上のうち消化仕入売上、及びパ
ルコのテナント売上、大丸興業の消化仕
入売上などが純額となるため大幅に減少
します。

百貨店の販売管理費及び一般管理費のう
ち、ポイント費用は売上からの控除となり
ます。

のれん、退職給付の数理計算上の差異は
償却しません。

固定資産売却益、雑収入、
固定資産処分損、雑支出などです。

受取利息、受取配当金、支払利息などです。

IFRSでは「経常利益」の指標は
ありません。

日本基準の当期純利益に相当し、ROEの
分子となります。

日本基準とIFRSの違い

(例示)



オムロンエクスパートリンク株式会社

1-1. 連結経営成績（前年比較及び2017年10月公表比較）

（単位：百万円、％）

項 目	当期実績 (2018. 2)	前 期 実 績 (2017. 2)			2017年 10月 公 表 数 値	
	金 額	金 額	対 前 年		金 額	対 公 表
1. 連 結 売 上 収 益	469, 915	452, 505	17, 410	3. 8	472, 000	△2, 085
2. 連 結 売 上 総 利 益	212, 935	212, 567	368	0. 2	212, 900	35
3. 連 結 売 上 収 益 総 利 益 率	45. 31 %	46. 98 %	差 △1. 67 %		45. 11 %	差 0. 20 %
4. 連 結 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	166, 688	167, 668	△980	△0. 6	167, 100	△412
5. 連 結 営 業 利 益	49, 546	41, 727	7, 819	18. 7	49, 000	546
6. 連 結 売 上 収 益 営 業 利 益 率	10. 5 %	9. 2 %	差 1. 3 %		10. 4 %	差 0. 1 %
7. 連 結 税 引 前 利 益	48, 271	42, 608	5, 663	13. 3	47, 000	1, 271
8. 親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 連 結 当 期 利 益	28, 486	27, 052	1, 434	5. 3	28, 500	△14

※参考

（単位：百万円、％）

総 額 売 上 高	1, 138, 981	1, 134, 342	4, 639	0. 4	1, 142, 000	△3, 019
-----------	-------------	-------------	--------	------	-------------	---------

（注）総額売上高は、IFRS売上収益のうち「百貨店事業」と「その他（大丸興業）」の消化仕入取引を総額に、「パルコ事業」の純額取引をテナント取扱高（総額ベース）に置き換えて算出しております。